

稲城野草散策の会

野草スケッチ アキノノゲシ（キク科）



1996/10/06

稲城市喪村

絵と文 Ta

多摩丘陵とは、多摩川と相模川とに挟まれて、東西に細長く伸びた丘陵一帯を指すのだそうである。

西は高尾山近辺、東は横浜市あたりまでが含まれる。

最近、このエリアに三浦半島も加えて「いるか丘陵」という呼び方が提唱されて

会報第47号 2008年11月16日発行 発行責任者 尼子 房夫

いる。

多摩丘陵と三浦半島をつなげると、ちょうどイルカがジャンプしているような形に見える、というのが命名の由来だという。

考えてみると、私の主要行動範囲は、多摩丘陵＋三浦半島＝いるか丘陵だ。

三浦半島には海岸植物があり、これを見たさに年数回訪れている。

日本植物友の会、稲城野草散策の会、パソコン通信のオフなど、数名～数十名で出かけることが多い。

海岸には岩場があり、干潮時には潮溜まりで海の生物の観察も楽しい。

岩場は植物にとって、寒暖の差が激しいだけでなく、乾燥、強風、塩害など、かなり過酷な環境に違いない。

その環境に耐えて咲かせる花は、高山植物と共通する美しさを持っているように思う。

日本植物友の会行事で8月末の三浦半島を散策したことがあった。

案内役はベテランのTさんである。

私は一般参加とはいえ、同会参与としての立場から、話題が途切れたときなどにはフォローするよう心がけている。

後半、疲れて皆の口が重くなった頃、ちょうどアキノノゲシが咲いていたので、話題を提供した。

「アキノノゲシはレタスの仲間（同属）なんですよ。ご存知でしたか」

大半の方には初耳だったようだ。

「え～っ」「ほんと?」「あ、そうらしいですね」いろいろな反応が返ってきた。

アキノノゲシはべつに海岸だけの植物ではない。

「いるか丘陵」のどこでも見られる。

図鑑によれば、分布は日本全土だそうである。

そうはいても、帰化植物のように、節操なくどこにでも生える、というわけではない。

ある程度の自然度が必要なようで、街中にはほとんど出現しない。

レタスと同属ということは、山と溪谷社の「野に咲く花」から得た知識である。

観察仲間なら、たいていの人が持っている図鑑なので、皆さんご存知かと思ったら、意外とそこまでは見ていないようだった。

アキノノゲシはキク科の中の「タンポポ亜科」というグループに分類されている。

タンポポと同じように、切り口から白い乳液を出すことが特徴だ。
新鮮なレタスを千切ると、やはり乳液が出る。

レタスの花を、私は見たことがない。
パソ通仲間が家庭菜園をやっている人から聞いた話では、アキノノゲシとそっくりだそうである。
サラダナもこの仲間だ。
アキノノゲシも食べられるのだろうか？
いつか試してみよう。

今回は紹介できなかったが、海岸に固有な植物は、真夏に花を咲かせるものが結構多い。
こういう点でも、高山植物と共通した生態を持っているような気がする。
しかし、それらの花を目当てに真夏に海岸へ出かけると、顰蹙を買ってしまう。
裸で寝そべっている人たちの脇を、ドタ靴・長袖・長ズボン・リュック・帽子といういでたちの団体が通るのだから、どう見ても異様だ。
双眼鏡を下げていたりすれば、あらぬ疑いまで掛けられる(^_^)

ということを承知で、それでも真夏に出かける。
物好きも度が過ぎて、病膏肓に入っているのかもしれない、などと思ったりする。
(2000年9月記)

* * * * *

〔行事記録〕 10月19日～20日 魚沼一泊観察会

今年のバス一泊旅行は、稲城野草散策の会MLで募集して、新潟県魚沼市で開催しました。参加された竹越恵子さんからレポートをいただきましたので、ここに掲載します。観察した植物リストもあるのですが、長くなるのでここでは省略します。稲城野草散策の会MLに記録があります。

10月19日(日)

新宿西口・工学院前を7時半出発、関越自動車道を走り、新潟県魚沼市・須原スキー場山頂に12時前に到着しました。好天に恵まれ360度のパノラマです。守門岳・八海山がくっきりと見えます。

早速目に留まったものはオオヒゲナガカリヤスモドキです。ススキの中に少し変わったものがあると調べます。グレンデを一気に草スキーもおもしろそうですが、植物観察にぐるっと回り道をします。周りの樹木はあまり高くなく、処々開

けた場所があります。

ウラジロハナヒリノキ・オオキツネヤナギ・オオバクロモジ・タムシバ・ヒメアオキ・オクチョウジザクラなど日本海型要素の植物が沢山出現しました。短い時間で発育、子孫を残すため、オオバになったり、薄くなったり、毛が多くなったり、環境に適合していきます。

オオイワカガミの葉が真っ赤に紅葉しているのに、ピンク色の花を咲かせているが印象的でした。リンドウとエゾリンドウの違い、タムシバの葉芽と花芽、ツルアリドオシの赤い実が目が2つある話などを伺いながら、スキー場下まで歩き、バスに乗りました。

酒造所「ゆきくら館」を見学し、飲めない人？までしっかりと試飲し、良い心持で、次の国指定重要文化財・目黒邸を散策しました。家屋の趣だけでなく、庭が良く整い、池を上手に配してありました。

すぐ隣の宿には日没前に到着、貸切です。料理は美味しく、本場コシヒカリの食べ放題。清潔でのんびりしました。夜はプロジェクターで石垣島の植物などの勉強会・今日の復習をしました。皆様静かにおやすみなさい。願望です。

10月20日（月）

今日も快晴。タウコギとアメリカセンダングサの雑種があり、近くに両者あるはずと、付近の田んぼにタウコギをみつけました。ミズタバコも出現し、8時半出発の予定でしたが写真タイム。おまけにブヨの襲来。昨日の目黒邸に続き2日にわたって刺され、手がパンパンに腫れる人、痒い痒い人、続出でした。

奥只見湖へ向かいます。奥只見シルバーラインはトンネルだらけ。視界が開けると、全山紅葉90%。駐車場からダムの上まで可愛いモノレールが走っています。ヤマブドウの実がたわわに実り美味しそう。ここではミズとヤマトキホコリが話題となりました。シルバーラインを戻り、駒の湯へ進みますが、脇道が細くバスが入れない為、かなり手前から歩き、観察、ブナ林の中で昼食となりました。サラサラと葉ずれの音が心地よく、静かな紅葉を満喫しました。タイリンヤマハッカ・クロバナヒキオコシの花が咲いていました。

道の駅でお土産を調達し、最後の大前神社へ。湧水があり、名水として遠くから汲みにきています。クルマバハグマ・バイカモを見、デワノタツナミソウは収穫でした。帰路は渋滞もなく7時過ぎには新宿に到着しました。皆様お疲れ様でした。沢山の植物に出会え、和気あいあいと楽しい旅でした。幹事さんどうもありがとうございました。

* * * * *

観察会参加10回くらいを目安に名前入り稲城野草散策会のバッジをさしあげています。紛失されたり、汚損された方は尼子までお申し出下さい。再発行します。

〔観察記録〕 10月26日 小峰公園

雨模様でしたが、57名の参加者がありました。曇りで少し薄暗い一日でしたが、雨には会わず、内山会長の万歩計では18500歩と結構歩いた一日でした。

秋の野菊は、カントウヨメナ、ノコンギク、ユウガギク、シラヤマギク、シロヨメナ、リュウノウギクなどに出会い、シダの仲間も色々見られました。昼食をとった広徳寺では東京都指定の天然記念物で本当に大きなタラヨウが実をつけていましたし、カヤも立派でした。ここにはイチヨウの巨木もあり銀杏を期待していた方もありましたが、残念！まだ落ちていませんでした。尾根道ではセンブリの白い花が見られ、実のついたキッコウハグマも多く見られました。ツルリンドウやツルアリドオシの赤い実もありました。このコースは春に又来てみたいという希望の声もありました。

次回は11月16日湘南平・高麗山です。シダが色々観察出来ます。またお会いしましょう。(FAM)

◆観察記録（番号順です）

(01)ヤブミョウガ(実)、(02)ハナタデ(花)、(03)イヌタデ(花)、(04)ヤマヤブソテツ、(05)オオバノイノモトソウ、(06)ゲジゲジシダ、(07)クマワラビ、(08)マツザカシダ、(09)セフリイノモトソウ、(10)トラノオシダ、(11)イラクサ、(12)チャノキ、(13)カラムシ、(14)カナムグラ、(15)コセンダングサ(花)、(16)オモダカ、(17)コナギ(花)、(18)ジャガイモ(花)、(19)タネツケバナ、(20)カントウヨメナ(花)、(21)コオニタビラコ、(22)タマガイツリ、(23)ホソバヒメミソハギ、(24)イヌガラシ(花)、(25)アリタソウ(花)、(26)ヤナギハナガサ(花)、(27)オカメザサ、(28)マダケ、(29)ラッキョウ(花)、(30)ニラ(実)、(31)タマスダレ(花)、(32)エノキ、(33)カラスノゴマ(実)、(34)ノコンギク(花)、(35)チカラシバ、(36)タイワンホトトギス(花)、(37)トウカエデ、(38)ムクゲ、(39)センニンソウ(実)、(40)オニグルミ、(41)ムクノキ、(42)カジノキ、(43)オオブタクサ(花)、(44)クサギ(実)、(45)カラスウリ(実)、(46)ヤマノイモ(むかご)、(47)ヌルデ、(48)オニドコロ(実)、(49)ネムノキ、(50)アラカシ、(51)シロダモ、(52)キツタ(実)、(53)ノキシノブ、(54)ナキリスゲ、(55)トネアザミ(花)、(56)マルバマンネングサ、(57)ブッドレア(花)、(58)ツタ、(59)ベニシダ、(60)イヌワラビ、(61)オオバタネツケバナ、(62)ワラビ、(63)ノハラアザミ(花)、(64)ヤマゼリ(花)、(65)スイカズラ(実)、(66)チチミザサ、(67)アキノタムラソウ(花)、(68)コウテイダリア、(69)ダイコンソウ(花)、(70)セントウソウ、(71)ヒガンバナ、(72)フジカンゾウ(実)、(73)アキノタムラソウの白花(花)、(74)ヤマユリ、(75)コバノヒノキシダ、(76)ホオノキ(実)、(77)タラヨウ(実)、(78)マツカゼソウ(花)、(79)サ

ラシナショウマ(花)、(80)イワヒメワラビ、(81)ミドリヒメワラビ、(82)シロダモ(実)、(83)コウヨウザン、(84)アブラスキ、(85)ユウガギク(花)、(86)ウマノアシガタ(花)、(87)キバナアキギリ(花)、(88)ササガヤ、(89)ゼンマイ、(90)コアジサイ、(91)シダの前葉体、(92)カントウカンアオイ、(93)ハナイカダ、(94)ウメモドキ、(95)ササクサ、(96)コウヤボウキ(花)、(97)トウゲシバ、(98)キッコウハグマ(実)、(99)コバノガマズミ、(100)メギ、(101)アセビ、(102)テイカカズラ、(103)ミヤマフユイチゴ、(104)ツルリンドウ(蕾)、(105)ガンクビソウ、(106)イノデ、(107)ミゾシダ、(108)ヤブデマリ、(109)ツルグミ、(110)イワガネソウ、(111)サネカズラ、(112)フモトシダ、(113)カシワバハグマ、(114)リョウブ、(115)ウリカエデ、(116)ツルアリドオシ(実)、(117)ノガリヤス、(118)センブリ(花)、(119)シラヤマギク(花)、(120)カラスザンショウ、(121)キカラスウリ、(122)フユノハナワラビ、(123)ウツボグサ、(124)ムラサキシキブ(実)、(125)ツタ、(126)ウラジロガシ、(127)ナガバノコウヤボウキ、(128)ドクツルダケ、(129)ヤクシソウ(花)、(130)ツクバネウツギ、(131)シロヨメナ(花)、(132)ノダケ、(133)シオデ(実)、(134)ツルニンジン(実)、(135)アズマヤマアザミ(花)、(136)アキノキリンソウ(花)、(137)オケラ(花)、(138)リュウノウギク(花)、(139)センボンヤリ(実)、(140)オミナエシ(花)、(141)オオアブラスキ、(142)ガマズミ(実)、(143)マルバハギ(実)、(144)ヤマハギ(実)、(145)コメナモミ、(146)ツリフネソウ、(147)ダイヤモンドソウ(花)、(148)イワタバコ、(149)ウバユリ(実)、(150)クサソテツ

(FAM)

◆ステゴビル

最初の説明でステゴビルが見られるかもしれないという話が出ました。ステゴビルなんて初めて聞いた方も多かったと思います。残念ながら花は終わっていて見つかりませんでした。

どんな花かは、

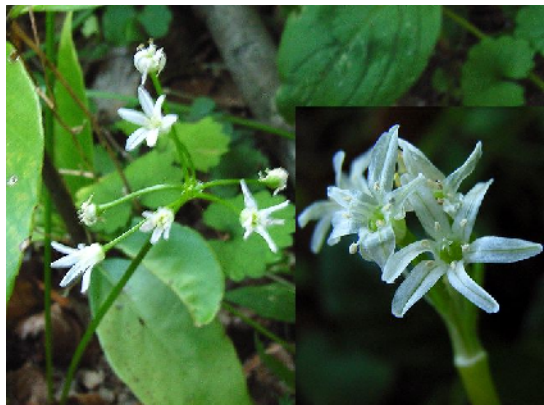
<http://yasuko.sakura.ne.jp/hyousimatome21/sutegobirusiro.html>
をご覧ください。

山と溪谷社の「野に咲く花」にも載っています。

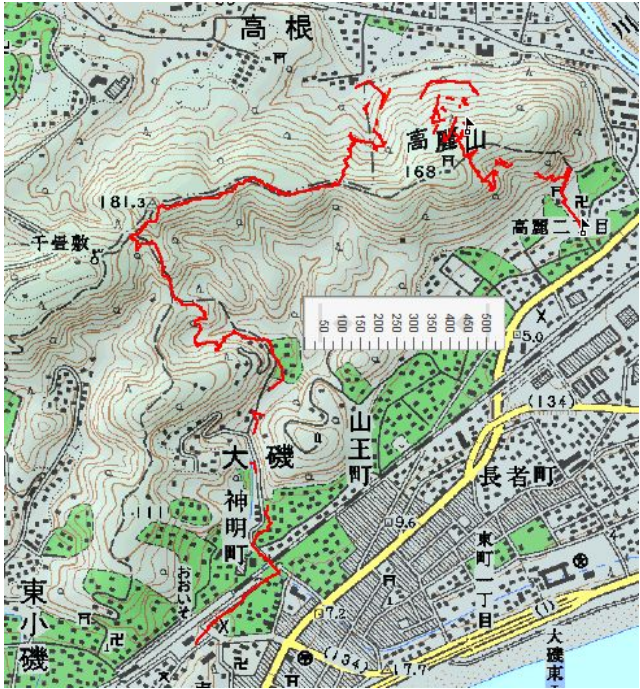
右はT aさんの写真です。

その語感から洋物かと思っていましたが、ユリ科ノハナビル属で「捨子蒜」だそうです。結構かわいい花ですね。

(FAM)



〔行事予定〕 2008/11/16（日） 湘南平・高麗山

項 目	説 明
集 合	am10時、JR東海道本線大磯駅 改札口付近 ※会旗目標 JR東海道本線大磯駅の改札口は一個所だけです
交 通	JR東海道本線（またはJR湘南新宿ライン）をご利用下さい JR東海道本線熱海行き東京発8：25～大磯9：32 東京発8：37～大磯9：40、東京発8：45～大磯9：55 JR東海道本線熱海行き東京発8：54～品川9：02～ 横浜9：20～戸塚9：30(*)～大磯10：04 JR湘南新宿ライン新宿発8：23～横浜8：54～大磯9：37 JR湘南新宿ライン新宿発8：44～戸塚で上記(*)に乗り換え
行く先 (解散場所)	高麗山（平塚駅 pm4時頃解散予定）
見所 その他	モクレイシ、カゴノキがあります。シダの宝庫です
地 図	
コース	大磯駅～千畳敷～高麗山～高麗神社～花水＝（バス）＝平塚駅（解散） コースは天候その他により変更する場合があります

※小雨決行 参加申込み不要、会費当日300円

〔行事予定〕 2008/12/14（日） 焼き芋大会

項 目	説 明
集 合	午前10時、京王相模原線京王よみうりランド駅 ※会旗目標 京王よみうりランド駅の改札口は一個所だけです
交 通	京王線調布駅から相模原線橋本行快速または各停で3駅目 京王よみうりランド駅には急行は停まりませんのでご注意ください
行く先 (解散場所)	稲城市穴沢天神での恒例・焼き芋大会です。穴沢天神で解散。最寄 駅は京王よみうりランド駅です 焼き芋準備グループと観察グループの2班に分かれて行動する予定 です
見所・その他	たき火(^_^) 冬芽、常緑シダなども観察します 当会の忘年会を兼ねます。芋、酔い子の飲み物などは幹事が用意し ます。差し入れ大歓迎！！
コース	観察グループのコース： 駅前～よみうりランド遊歩道～小沢城址～穴沢天神（焼き芋大会） （解散：15時30頃）

※小雨決行 参加申込み不要、会費当日500円

〔募集・2009年度観察会の推薦場所〕

2009年度の観察希望の場所を募集します。皆様からのご提案をお待ちします。
月例の場所としては、12月の焼き芋大会、1月の七草摘み、七草粥。稲城ふれ
あいの森、三沢川下りなど稲城周辺での観察会を9回くらい、その他の場所8回。
バスハイク観察会1回を目安に考えています。(FAM)

過去のバスハイク観察会は、下記。

000806（日）乙女峠
010729（日）三ツ峠
020627（日）三窪高原
030724（木）高峰高原
040722（木）入笠山
050714（木）高ボッチ
060427（木）函南原生林
070720（金）霧ヶ峰高原
080523（金）清里